

鳥取県の 原子力防災への取組

地域防災計画(原子力災害対策編)と広域住民避難計画

鳥取県は、島根原子力発電所の事故に備えて、様々な防災対策を進めています。

福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、原子力施設から概ね半径30kmの地域をUPZ(緊急時防護措置を準備する区域)とすることが定められ、境港市全域と米子市の一部地域がUPZに含まれました。

平成25年3月に、県・市では「**地域防災計画(原子力災害対策編)**」の全面修正にあわせ、災害時の住民避難要領をまとめた「**広域住民避難計画**」を策定しました。(平成26年3月改定)

これらの計画に基づき、放射線を測定する機器や防護用の資機材を整備しています。また、原子力防災訓練を行い、防災技術の習熟とこれらの計画の実効性を確保していきます。

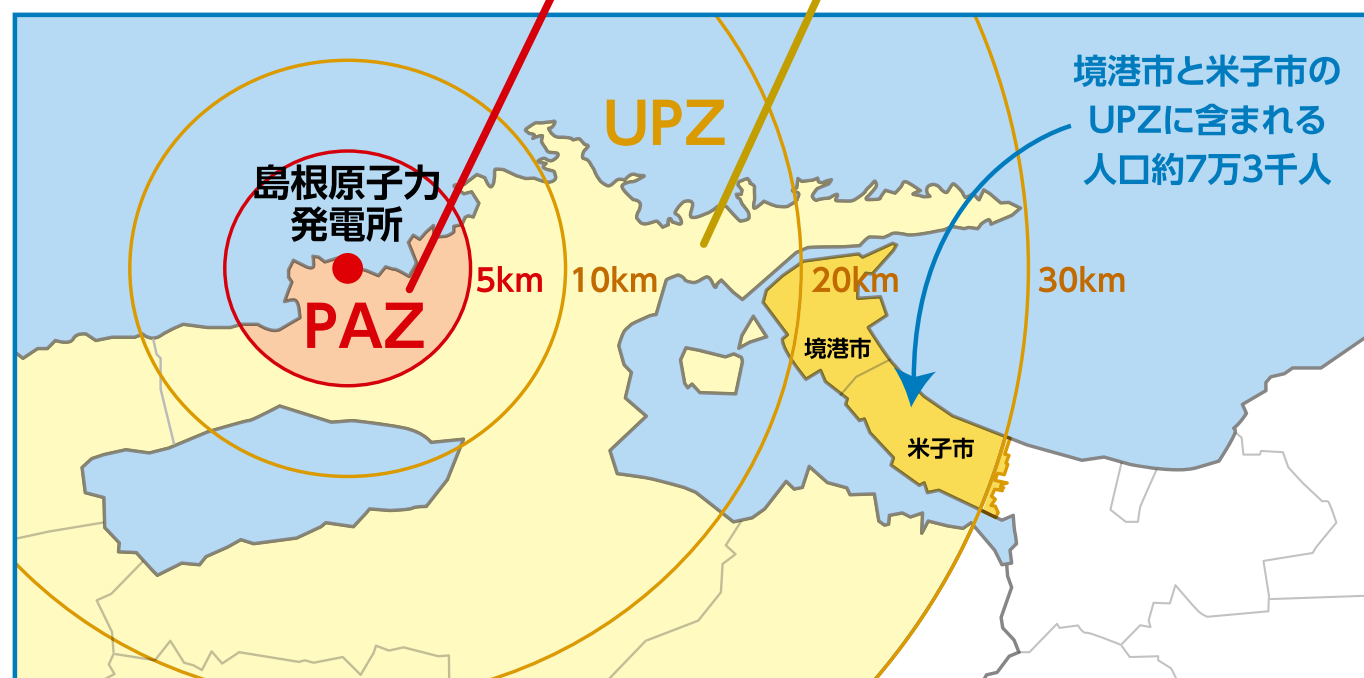
PAZ(予防的防護措置を準備する区域) :概ね5km

直ちに避難を実施するなど予防的防護措置(避難等)を準備する区域。(※島根県松江市の一部)

UPZ(緊急時防護措置を準備する区域) :概ね30km

環境モニタリング等の結果に基づき屋内退避、避難、一時移転、安定ヨウ素剤の予防服用等を準備する区域。

▼島根原子力発電所からの距離



県・市が行う事前対策の取組み

- 中国電力の原子力防災対策や安全対策が適切に行われているか確認します。
- 島根原子力発電所周辺の安全確保のため、必要に応じて中国電力との安全協定に基づき現地確認などを行います。
- 災害発生時に迅速な対応ができるよう、平常時からの放射線の測定体制や各種の防護資機材を整備します。

1 原子力災害 とは

原子力災害って なに？

原子力災害の特徴とは？

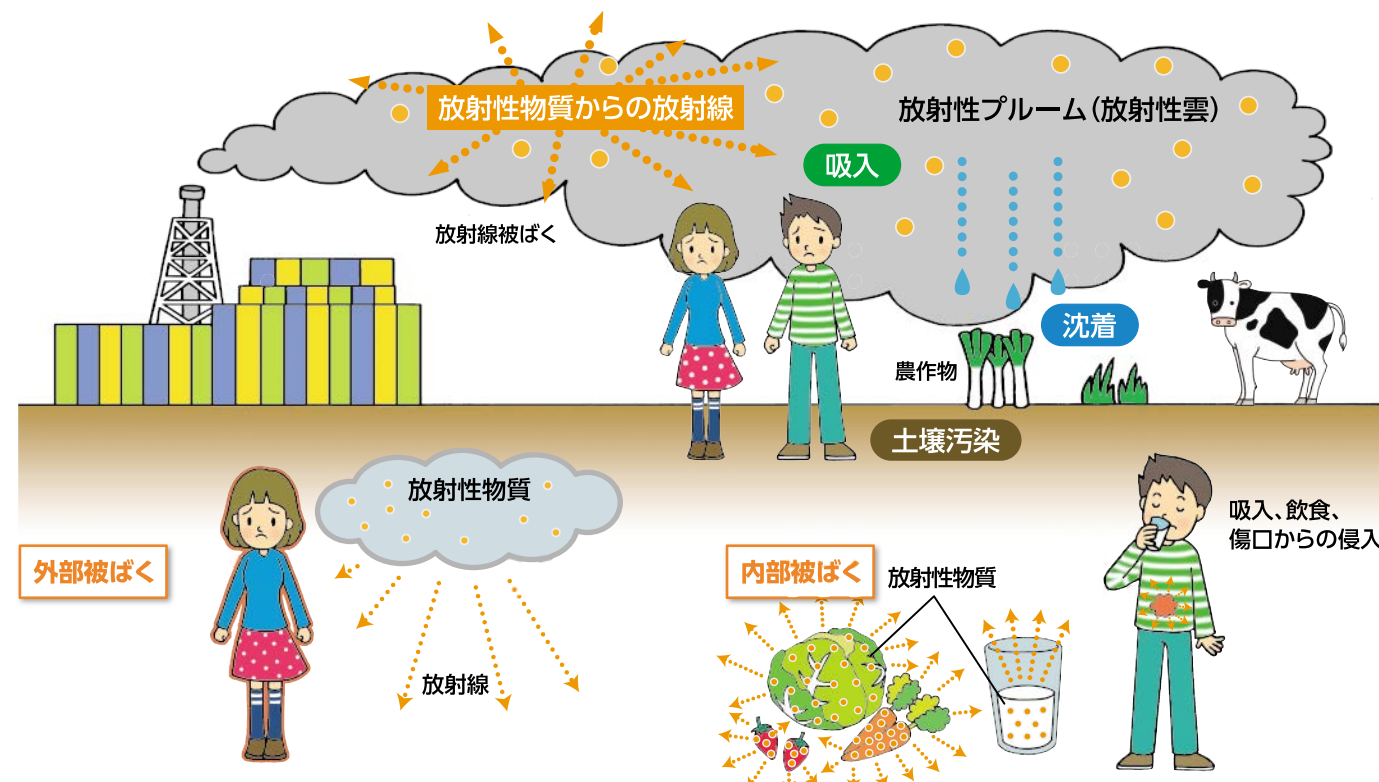
原子力災害は、一般の災害と比較し、主に次のような特徴があります。

- 放射性物質または放射線の存在は、放射線測定器を用いることにより検知することができますが、**目に見えないなど五感で感じることはできないため、被ばくを自ら判断できません。**
- 原子力に関する専門的知識が必要**なため、専門的機関の役割や指示、助言等が重要となります。
- テレビやラジオなどからの県や市の情報に基づいて、**屋内退避**や**避難**などが必要となります。

原子力災害が発生するとどうなるの？

原子力発電所で事故が起きた場合、周辺に放射性物質が放出される恐れがあります。

- 原子力災害発生時のイメージ図 ※**放射性物質・放射線は目に見えません**



「被ばく」と「汚染」の違い

- 「被ばく」…放射線を受けることをいいます。
- 「汚染」…放射性物質が皮膚や衣類に付着した状態であり、洗ったり拭き取ったりして、放射性物質を落とす作業(除染)を行います。

外部被ばくと内部被ばく

外部被ばくだけでなく、内部被ばくにも注意が必要です。

- 「外部被ばく」…体の外部から放射線を受けることをいいます。
- 「内部被ばく」…呼吸や食べ物、傷口から体内に入り込んだ放射性物質により、体内の組織や臓器が放射線を受けることをいいます。